

# すくすくみどり

✕ 栽培ポイントカレンダー ✕

No.23



# 目次

はじめに	1
園芸作業	2
●4月	2
●5月	4
●6月	6
●7月	8
●8月	10
●9月	12
●10月	14
●11月	16
●12月	18
●1月	20
●2月	22
●3月	24
種から花を育てる	26
緑の相談	32
札幌市都市緑化基金	33
第44回 緑の絵コンクール	36
第22回 緑と花のフォトコンテスト	38
平成22年度札幌市都市緑化基金事業報告	40
環境マネジメントシステム (EMS) への取り組み	44

## この小冊子の使い方

作業の内容に適する時期を表しています。  
(この場合は4月の上旬から中旬が「冬囲いの取り外し」の適期であることを示しています)

April 4月			作業内容	
作業時期			庭木類	
上旬	中旬	下旬		
			●冬囲いの取り外し 枝折れを防ぐための囲いは土が乾き次第行いましょう。凍結防止のコモ囲いは、まず一部を開いて通風をし、暖かくなってから曇天の日を選んで外すとよいでしょう。	
			●雪害木の手入れ 折れたり、裂けたりした枝は切り取って、切り口に癒合剤を塗布しましょう。	



植物の生育サイクルについては、天候や管理の状態などによって多少前後することがありますので、あくまでもひとつの目安として管理に工夫してみてください。

## はじめに

花や緑は私たちの目を楽しませ、心身をリラックスさせてくれます。特に冬の長い北国では花や緑が貴重ですし、四季や室内・戸外を問わずに鮮やかな花と緑があるとただそれだけでホッとしたり、華やかな雰囲気演出してくれたりします。

この「すくすくみどりNo23」では、北国札幌の条件下で育てる庭木、草花、鉢花の生育管理を月毎にまとめて取り上げ、園芸を楽しまれる方々に平易な手引書として活用していただくことを願って作成しました。

一見、寒い冬の問題などから、札幌は園芸にとって不利であるかのように考えがちですが、本州方面では栽培が難しい夏の暑さやムシに弱い植物でも、札幌では元気に育ったり、花や葉の発色が鮮やかであったりします。

園芸を楽しまれる方が、この冊子を有効に活用してくださり、花と緑にふれあう環境づくりに少しでも役立てていただくことを願っています。

なお、この冊子の発行は、札幌市都市緑化基金の事業の一環として行なっております。

私たちの街札幌を緑豊かな魅力ある街にするため、札幌市都市緑化基金の募金にご協力をお願いします。





## 作業時期

上旬 中旬 下旬

## 作業内容

## 庭木類

**冬囲いの取り外し** 枝折れを防ぐための囲いは土が乾き次第行いましょう。凍結防止のコモ囲いは、まず一部を開いて通風をし、暖かくなってから曇天の日を選んで外すとよいでしょう。

**雪害木の手入れ** 折れたり、裂けたりした枝は切り取って、切り口に癒合剤を塗布しましょう。雪圧で形のくずれた株物や生垣は、支柱を立てて姿を整えましょう。



レンギョウ

**苗木の植え付け** 入手後すぐに植えましょう。根が乾いている場合は一昼夜水に浸してから植えます。

植え付け後は支柱を立て、仮植するときは根を乾かさないように注意しましょう。

**移植** 芽出し前に行います。(カンバ類、ナナカマド、サクラ、コブシ、モクレン、カイドウ、ツツジ類、レンギョウ、ユキヤナギ、トドマツ、エゾマツ、ヒバ類、果樹類)

ツツジ類ほかの春咲き花灌木は、それぞれの花後でもよいでしょう。

**注意** イチイ、マツ類、シャクナゲは5月下旬～6月がよく、ボタン、ボケ、ブドウは秋が適期です。



モクレン

**根回し** 翌年移植予定の木に行います。



**施肥** 生垣、刈り込み仕立ての木、花木類、果樹類に、油粕や骨粉ほか有機質主体の肥料を与えます。

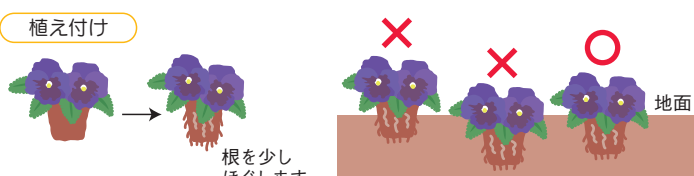
**剪定** バラは冬囲いを取り外してすぐに行います。弱い枝、内側に向かう枝は整理し、ほかの枝は2～3芽残して外芽の上で剪定します。

**病虫害防除** 主に果樹類の越冬害虫に対し、マシン油剤を25～50倍に薄めた液を木全体に噴霧します。適期は芽が膨らみ始めた頃で、この頃には害虫が活動を開始するので防除効果があります。芽が開き始めたら葉害が出るので散布してはいけません。

作業時期			作業内容
上旬	中旬	下旬	草花
			<p><b>育苗(種まき)</b> 花壇用のマリーゴールド、ペチュニア、キバナコスモス、インパチェンス、コリウス、サルビアなどの種を播種床にまきます(3月中旬頃から)。発芽温度に注意しましょう。</p> <p><b>育苗(移植)</b> 発芽後、本葉が3～4枚になったらポリポットなどに移植します。徒長しないようによく日に当てて育てましょう。</p> <p><b>芽出し</b> ダリア、カンナなどの球根は分球し、暖かい室内で芽を出させます。(浴光催芽法)</p> <p><b>株分け</b> キキョウ、シャスターデージー、キク、アスチルベなどの宿根草類の株分けをします。</p> <p><b>施肥</b> 宿根草類や秋植え球根類に、有機質肥料または有機化成肥料を与えます。</p>
			 <p>クロッカス</p>
			鉢花
			<p><b>植え替え</b> アザレアなどのツツジ科植物は根が酸素を多く要求し、根づまりしやすいため水はけと通気性のよい弱酸性の用土(例:鹿沼土7+ピートモス3)で毎年植え替え、4月中旬以降に整姿・剪定します。その後、7～10日養生して5月上旬に戸外に出します。また、ハナウメ、ハナモモなども早めに行います。</p> <p>フクシアは根張りが旺盛なので、下旬から5月上旬にかけて根鉢を1/3ほど崩して植え替えます。</p> <p>ただし、一般に、植え替え、株分けは行いますが、鉢花を戸外に出すのはまだ早すぎます。</p> <p><b>剪定</b> 木立ベゴニア、クリスマスベゴニア(冬咲きベゴニア)などのほか、冬期に室内で花を楽しんだ花木類などは花後に剪定します。</p> <p><b>露地植え</b> プリムラ・ポリアンサ、プリムラ・ジュリアンなどは露地に植えてもかまいません。</p> <p><b>施肥</b> 液肥を主体として与えます。</p>



作業時期			作業内容
上旬	中旬	下旬	庭木類
			<b>種まき</b> イチイ、サクラ、カエデ、ナナカマドほか乾かないように土中埋蔵などで保存しておいた種子のほか、マツ類、コブシ、イボタ、ツリバナなどが種まきの適期です。
			<b>成木の移植</b> 落葉樹、果樹類は新葉が展開する前に移植します。 <b>注意</b> イチイ、マツ類は5月中旬から6月中旬がよいでしょう。
			<b>根回し</b> 翌年移植予定の木にしておく、移植後の活着がよいでしょう。
			<b>苗木の植え付け</b> すべての樹種で可能です。
			<b>接ぎ木</b> 果樹類、モクレン、ハナカイドウ、ライラックなど、接ぎ穂は2月末頃に採取し、保存しておいたものを使います。
			<b>整姿・剪定</b> エゾムラサキツツジ、レンギョウは花後、ムクゲの剪定は間引き程度にします。
			<b>花がら摘み</b> ツツジ類は花後すぐに行います。
			 ツツジ
			<b>施肥</b> ウメなどの花木、ツツジ類などの花灌木には、花後に化成肥料を与え、翌年の花芽形成を促進させます。
			<b>病虫害防除</b> バラや果樹類には、葉が開くと同時にアブラムシ類の寄生が多くなったり、モモやウメには縮葉病が発生しやすくなります。展葉後、果樹類では花が散り始めたら、殺虫剤と殺菌剤の混合液を散布して防除しましょう。
			 ライラック

作業時期			作業内容
上旬	中旬	下旬	<div>草花</div> <div> <p><b>種まき</b> アスター、ジニア、キンセンカ、コスモス、そのほかの一年草類や、宿根カスミソウ、セキチク、オダマキ、ノボリフジ、シャスターデージーなど宿根草類の種を花壇に直播きします。</p> <p><b>植え付け</b> ダリア、グラジオラス、カンナなどの春植え球根類や、パンジー、デージー、ペゴニア類、インパチェンス、シバザクラの苗を花壇やプランターに植え込みます。</p> <div> <p>植え付け</p>  <p>根を少しほぐします</p> <p>地面</p> </div> <p><b>花がら摘み</b> スイセン、チューリップ、ヒヤシンス、クロッカスなどの秋植え球根類は、花後すぐに花首から摘み取ります。(P11のイラスト参照)</p> <p><b>施肥</b> 秋植え球根類には、化成肥料を与えて球根を肥大させます。</p> <p><b>病虫害防除</b> アブラムシ、ヨトウムシ、灰色かび病、苗の立ち枯れ病などが発生しやすいので、薬剤防除します。ハナショウブなどのアヤメ類のズイムシを防除するための薬剤散布をします。</p> <div>鉢花</div> <p><b>戸外管理</b> 一般に、ライラックの花が咲く下旬ころからは多くの種類の鉢花を戸外に出し、よく日に当てますが、葉焼けに注意して、徐々に日光に慣らすようにしましょう。</p> <p><b>植え替え</b> アザレアなどのツツジ科植物は上旬までに植え替えを終えます。ニューギニア・インパチェンス、ゼラニウム、フユサンゴ(ヒメダイダイ)、クンシラン(株分けも含む)などのほか、中旬以降からはペゴニア類、ストレチア(ゴクラクチョウカ)などが適期となります。</p> <p><b>剪定</b> ハイビスカス、ブーゲンビレアなどは花後に剪定します。</p> <p><b>施肥</b> 液肥を主体として十分に与えます。 戸外に出したものには置肥と液肥を併用して与えます。</p> </div>





## 作業時期

上旬 中旬 下旬

## 作業内容

## 庭木類

**移植・定植** イチイ、マツ類などの移植、定植が適期です。

**整姿・剪定** コデマリ、ユキヤナギ、レンギョウ、ライラック、ツツジ類などは、花後すぐに行います。  
イチイ、シンパク、サワラ、ツゲなど、生垣、玉仕立ての樹木の整姿は、随時行います。



コデマリ

**さし木** イチイ、シンパク、エニシダ、アジサイ、ツツジ、サツキ、コデマリ、ユキヤナギ、レンギョウ、ライラック、シャクナゲなどの新梢さしを行います。

**花から摘み** ツツジ類、サツキ、シャクナゲ、ライラック、アジサイ、ポタンなど、種子のできる樹種は花後に子房の下から摘み取ります。

**緑摘み・芽摘み** アカマツ、クロマツ、ゴヨウマツなどは、新芽が手で折れるまでの間に行います。  
シンパク、ヒバ、アカエゾマツなどは葉、新梢を摘んで樹形を整えます。

**摘果・袋かけ** 袋かけの前には病虫害防除をして、リンゴ、ナシ、モモなどに行います。

**施肥** 花木類には、花後すぐに化成肥料を与えるとよいでしょう。  
リンゴは中旬に追肥を行います。

**病虫害防除** 各種病虫害の発生が多くなるので、早めに殺虫・殺菌剤を散布しましょう。

## 草花

**種まき** ハボタン、ビジョナデシコなどの種まきをします。

**さし芽** シバザクラ、アキランサスなどはさし芽で増やします。



作業時期			作業内容
上旬	中旬	下旬	
			<p><b>定植</b> マリーゴールド、ペチュニア、ベゴニア、インパチェンスなどの夏咲き草花類を定植します。</p>  <p>ベゴニア</p>
			<p><b>間引き</b> 直播きしてある1・2年草が込み合っているものは間引きします。</p> <p>春から植えて開花中のサルビア、ペチュニアなどは、花がらを摘みながら摘心し、追肥すると次々と開花します。</p>
			<p><b>肥料</b></p>  <p>← <b>実肥</b> リン酸分の多いものを与えます。 開花期の長いものに連続して施します。成育中期以降に有効。</p> <p>← <b>葉肥</b> チッ素分の多いものを施します。 成育初～中期に有効。</p> <p>← <b>根肥</b> カリ分の多いものを施します。 成育中～後期に有効。</p>
			<p><b>鉢 花</b></p> <p>セントポーリア、グロキシニア、ストレプトカーパスなどは室内で管理します。セントポーリアは年中室内で育てます。上手に育てるとほぼ一年中花を咲かせるので室内栽培に最適の花でしょう。</p>
			<p><b>露地植え</b> 花の終わったプリムラ・オブコニカは庭に植え込み9月上旬まで育てます。</p>
			<p><b>植え替え・剪定</b> ハイビスカス、ハイドランシア（西洋アジサイ）などは花後ただちに植え替え、剪定します。ポインセチアは上旬に切り戻しをして植え替えます。</p>
			<p><b>挿し木</b> アザレアなどのツツジ科植物、ハイビスカス、ブーゲンビレア、ハイドランジアなどの挿し木を行います。</p>



## 作業時期

上旬 中旬 下旬

## 作業内容

## 庭木類

**整姿** イチイ、マツ類などが適期です。

**剪定** バラは、一番花が終わったら5枚葉を1枚つけて切り戻します。株元から出ているシュートは30～50cmくらいで摘心します。



バラ

**施肥** 花の咲き終わった花木類に化成肥料を与えます。バラは秋花を咲かせるため施肥します。

**芽接ぎ** サクラ、カエデ類の芽接ぎを行います。

**摘果・袋かけ** 袋かけの前には病害虫防除をして、リンゴ、ナシ、モモなどに行います。

**病害虫防除** イチイ、マツ類、シャクナゲ、カエデ類などにはナガチャコガネムシ(ネキリムシ)成虫、カイガラムシ、ツツジ類のベニモンアオリンガ(ツボミムシ)の防除を行います。



アジサイ

## 草花

**種まき** ハボタン、ビジョナデシコは上旬、パンジーは下旬に行います。

**植え付け** マリーゴールド、サルビア、ケイトウ、コリウス、アキランサス(テランセラ)などを花壇に植え付けます。

**移植・株分け** ジャーマンアイリスの移植、株分けは、植え付け前に石灰を施しておきます。また、ハナショウブ、ヒメシャガなどアイリス類の移植、株分けの適期です。

**さし芽** シバザクラ、アキランサスなどはさし芽で増やします。



インパチェンス

作業時期			作業内容
上旬	中旬	下旬	
			<p><b>球根掘り上げ</b> チューリップ、スイセン、クロッカス、ダッチアイリスなどの秋植え球根類は、葉が枯れてきたら掘り上げ、陰干しをして乾燥保存し、9～10月に植え付けます。(3～4年ごと)。</p>
			<p><b>摘心</b> ダリア、キクなどが適期です。</p> <p>開花中のサルビア、ペチュニアなどの花から摘み、摘心、追肥をします。</p>  <p>リーガルリリー</p>
<div>鉢花</div> <p>アマリリス、ブーゲンビレア、ハイビスカス、クレロデンドロン(ゲンペイカズラ)などはよく日に当てましょう。</p>			
			<p><b>灌水</b> アザレア、ツバキ、ポインセチア、ハイビスカスなどには十分に与えます。</p>
			<p><b>施肥</b> 蕾の形成期が近いアザレア、ツバキ、サザンカなど、肥培は今月で打ち切る種類も含めて、それぞれにチッソ分が少なく、リン酸カリ分の多い肥料を十分に与えます。</p>
			<p><b>植え替え</b> ハイビスカスなどを植え替えます。</p>
			<p><b>挿し木(芽)</b> ニューギニア・インパチェンス、ハイビスカス、ランタナ、ペゴニア類など、またサツキ、アザレアなどのツツジ科植物の新芽挿しのほか、多くの種類は挿し木(芽)で増やせます。</p> <div>   </div> <p>アルストロメリア                      ランタナ</p>
			<p><b>病害虫防除</b> ハダニ類、コナジラミほか各種病害虫の発生に注意します。</p>



## 作業時期

上旬 中旬 下旬

## 作業内容

## 庭木類

**整姿・剪定** イチイ、マツ類、カエデ類などのほか、生垣の刈り込みを行います。リンゴ、ナシ、モモ、ウメ、プラムの徒長枝は間引き程度とし、ブドウの二番枝などを剪定します。また、フジの芯を止めてやります。

**病害虫防除** ケムシ、アオムシ類、ツツジ類のベニモンアオリンガ(ツボミムシ)、うどんこ病、褐斑病などが発生するので、早めに殺虫剤、殺菌剤の散布をしましょう。イチイ、マツ類、シャクナゲなどのカイガラムシ防除は今月中に終わらせましょう。また、ナガチャコガネムシ(ネキリムシ)成虫の発生が多かったときは、下旬に幼虫の防除をしましょう。



ムクゲ



イチイ

## 草花

**種まき** バンジーは上旬までに行いましょう。

**植え付け** コルチカムの植え付けが適期です。

**株分け** シャスターデージーほかの株分けが適期です。

開花中のサルビア、ペチュニアなどの花がら摘み、摘心、追肥をします。

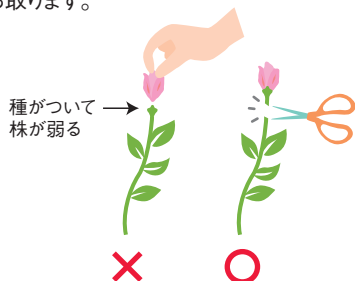
作業時期			作業内容
上旬	中旬	下旬	鉢 花
			<p><b>灌水</b> アザレア、ツバキ、ポインセチア、ハイビスカス、ジャズミンなどはもちろん、ニューギニア・インパチェンスなども水切れしないようにたっぷりと与えます。</p> <p><b>施肥</b> 各種花木、草花とも液肥を主体として十分に与えます。ただし、アザレア、ツバキ、サザンカなどは蕾の形成期に入るので与えてはいけません。</p> <p><b>植え替え</b> シクラメンは球根の半分を土の上に出して植え替えます。その他、植え替えの遅れている鉢は早急に行います。</p>
			 <p>フクシア</p>

## 花の手入れ

### 花がら摘み

次々と咲くものは咲き終わった花がらをこまめに摘み取りましょう。

取るのは花びらだけでなく、種のつく子房から取ります。



### 切り戻し

花がひととおり咲き、茎が伸びてきたら、一度切り戻して肥料や水やりを続けると側枝が伸び、再び花をたくさんつけます。

思い切って早めに切ることも大切です。





## 作業時期

上旬 中旬 下旬

## 作業内容

## 庭木類

**植栽・移植** ハナズオウ、ハナカイドウ、ボケ、フジ、ボタンなどの植栽・移植の適期です。

**剪定** イチイ、マツ類、カエデ類などの剪定を行います。

春から初夏に咲く花木の大半には、すでに来年の花芽が形成されているので、剪定はしないほうがよいでしょう。

**施肥** 樹木はすでに冬に向けて充実期に入っており、花木類では来年の花芽が形成される時期なので肥料は与えません。特に耐寒性の弱い西洋シャクナゲ、ジンチョウゲ、ツツジ類、ボタン、ツバキなどには、上旬までにカリ肥料を単用で与えておくといでしょう。

**病虫害防除** カエデ類、ボタン、バラ、クレマチスなどに、うどんこ病が発生しやすくなります。また、カエデ類、ツツジ類にはイラガの寄生が目立つなど、各種病虫害が多発するので防除を徹底しましょう。

## 草花

**植え付け** クロッカス、スイセン、ヒアシンス、アリウム、チューリップなどの秋植え球根類が適期です。

**株分け・植え替え** フクジュソウ、プリムラ・ポリアンサ、アルメリア、スズラン、ミヤコワスレ、オダマキ、シャスタデージーなどの春・夏咲きの宿根草類が適期ですが、シャクヤク、ジギタリスは下旬頃からよいでしょう。



コスモス

作業時期			作業内容
上旬	中旬	下旬	
			<b>育苗・(植え替え)</b> パンジー、デージー、ビジョナデシコなど。
			<b>鉢上げ</b> 花壇のインパチェンス、ペチュニア、ベゴニアなどを、鉢やプランターに植え替えておくとし冬季室内で花を楽しめます。また、アキランサスは鉢上げて冬は寒さから保護します。カンナも鉢上げて花を楽しみ、その後休眠させるとよいでしょう。
			 ダリア
			<div>鉢花</div>
			<b>鉢替え</b> ニューギニア・インパチェンス、カロライナジャスミン、マダガスカルジャスミン、ランタナ、サンタンカ、ハイドランジアなどの根詰まりしたものは鉢替えします。
			<b>施肥</b> 種類により液肥を主体として与えます。ただし、ツバキ、サザンカ、アザレアなどには与えません。
			<b>病害虫防除</b> 戸外に置いた鉢で入室が近いものには殺虫殺菌剤を散布することが大切です。また、ナメクジ、カタツムリなどにも注意しましょう。
			<b>入室</b> ポインセチア、ブーゲンビリア、ハイビスカスなど、寒さに弱い種類から順次室内に取り込みます。ただし、シクラメン、クンシラン、アザレア、ツバキ、サザンカなどは10月まで戸外に置いて管理しますが、霜には注意します。
			 ストレリチア





## 作業時期

上旬 中旬 下旬

## 作業内容

## 庭木類

**植栽・移植** 落葉樹類ではカエデ類、ナナカマド、カンバ類、カイドウ類、サクラ、ライラック、ボケ、フジなど、果樹類ではリンゴ、ナシ、モモ、ウメ、オウトウ、ブドウなどが適期です。ただし、ボタンは上旬までにすませましょう。

今年(特に秋)植栽、移植した木は、土壌が掘り返されるため、冬季の土壌凍結が深くなり、根が凍上・乾燥して活着不良となることが少なくありません。この場合は株元、地表に落ち葉、わら、ピートモスなどを敷いて凍上を防ぎます。また、耐寒性の強い種類でも移植した年は、地上部をコモ囲いなどで木の乾燥を防ぐとよいでしょう。



リンゴ



カエデ

## 草花

**植え付け** チューリップ、クロッカス、アリウム、ヒヤシンス、スイセン、ユリ類、球根アイリス、スノードロップ、シラーなどの秋植え球根類は下旬までに植え付けます。ハボタン、キクなどは上旬に秋花壇へ植え付けるとよいでしょう。

**球根掘り上げ** ダリア、カンナなどの球根類は、地上部が枯れてきたら掘り上げて貯蔵します。

**株分け** 宿根カスミソウ、宿根フロックス、ギボウシ、シャスターデージー、アスチルベ、キキョウなどの春・初夏咲きの宿根草類の株分けは上旬までに終わらせましょう。

作業時期			作業内容
上旬	中旬	下旬	
			<p><b>鉢上げ</b> 花壇のインパチェンス、ペチュニア、ベゴニアなどは、霜に当たらないうちに鉢やプランターに植え替えて、室内の明るいところに置いてやると、長く花を楽しむことができます。</p>  <p>キク</p> <p><b>鉢花</b></p> <p><b>入室</b> 比較的寒さに強い種類のアザレア、ツバキ、サザンカなども下旬には入室させ、休眠打破のために当分はごく低温の所に置きます。また、ハゴロモジャスミン、カロライナジャスミンなども低温の所に置きます。クンシランは入室後、暖かい部屋に置いておくと開花しなかったり、花茎が伸びずに葉の間で咲いてしまうので、入室後は5～10℃の低温に60日間ほど置いて管理します。</p> <p><b>短日処理</b> ポインセチアは短日植物であるため、室内で蛍光灯などの人工光線を受けると苞葉が赤く色づかないので、室温が20℃前後の所に置き夕方5時から翌朝8時ころまで段ボール箱を被せるなど暗くして夜の時間を長くします。色づいた苞葉が出てくるまで60日ほど毎日連続してこの短日処理を行います。処理中も施肥は続けます。</p>  <p>ピラカンサ</p>



## 作業時期

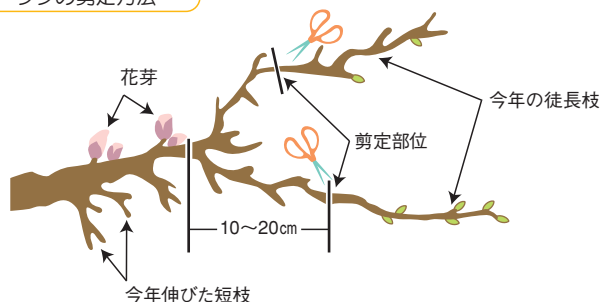
上旬 中旬 下旬

## 作業内容

## 庭木類

**整姿・剪定** フジ、ボタン、カイドウ類、ボケ、サクラ、カンパ類、ナナカマドなどの庭木類のほか、ブドウも適期です。

## フジの剪定方法



**冬囲い** イチイ、マツ類など高木類は雪吊りをし、低木類や生垣などは中旬頃までに積雪による枝折れ防止の囲いをしましょう。寒さに弱いサツキ、ジンチョウゲ、西洋シャクナゲ、バラ、コノテガシワなどは気象の推移を見ながら秋の陽光と寒さに十分当ててからコモを巻いて防寒をします。



ハボタン

## 草花

**植え付け** チューリップ、球根アイリスの植え付けが遅れているときは上旬までには植え付けてやりましょう。

## 鉢花

**灌水・施肥** 熱帯性などの高温を好む種類、ポインセチア、ハイビスカス、クレロデンドロン、ランタナなどは、朝方の室温が15℃を維持できるようであれば水と肥料は続けて与えます。

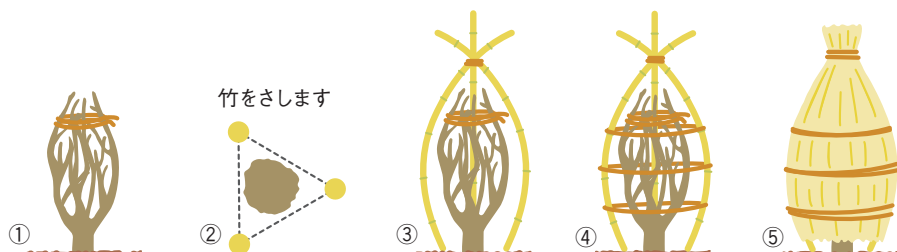
作業時期			作業内容
上旬	中旬	下旬	<p>最低室温が10℃以下になるような場合は、水をごく控えて、肥料は与えません。</p> <p>シクラメン、プリムラ類、シネリリア（サイネリア）などは、朝方の最低室温10℃、日中の最高室温20℃の温度範囲の所に置いて、水と肥料は適量を与え続けます。</p> <p>球根ベゴニアは低温、短日になると開花しないので、3月までは5℃以下で、かつ水が凍らない程度の低温で休眠させます。</p> <p>アマリリス、グロキシニアなども、やや低温の所に置いて水を切って休眠させます。</p>

## 冬 囲 い

北海道では寒さで枝が枯れ込んだり、雪の重みで枝が折れたりしないように冬囲いをします。

**材料** 根曲がり竹、さらし竹、丸太、板、縄、むしろ、わらなど

- 方法**
- ① 植物全体の中程より上を縄で束ねます。
  - ② 株の回りに根曲がり竹を3～5本、等間隔にさします。
  - ③ 竹を植物の上10～20cmの所で右回りか左回りに揃えて縄で縛ります。
  - ④ 竹囲いの外側を所々竹に一巻きしながら下から縄で巻き上げます。
  - ⑤ 雪害をうけやすい場所にあるものはこの上からむしろを巻き、2～3段縄で縛ります。



冬囲いは、囲ってしまえば終わりではなく、積もった雪を下ろしたり、春の水割など、取り外すまで面倒を見ましょう。



## 作業時期

## 作業内容

上旬 中旬 下旬

庭木類

**整姿・剪定** フジ、ボケ、ブドウなど。

**鼠害防止** 林縁や沢地に隣接する庭では冬季間積雪下でエゾヤチネズミによる樹皮の食害が発生します。このような庭では殺鼠剤や忌避剤を使用します。

これから戸外は積雪に覆われるので特に必要な作業はありませんが、軒下に植えられている庭木類や、道路際の生垣などは落雪、除雪による損傷が心配されるので、状況に応じて囲いの補強や除雪を行いましょう。樹冠や枝に積もった雪を落とすことも必要です。



## 「整姿」と「剪定」違いは何？

**整姿** 一定の樹形を維持、保存するために枝葉を切り除くこと

**剪定** 樹形を作るために枝を切り除くこと

作業時期			作業内容
上旬	中旬	下旬	鉢花
			<p><b>灌水・施肥</b> 一般に、窓辺などの明るい所に置くと冬の間も開花する種類が多くあります。シクラメン、プリムラ類、シネリアほか高温を嫌う種類については日中の最高室温を20℃程度に保ち、ガラス越しの光を当てて水と肥料を与えるようにします。</p> <p>アザレアは開花前の葉水を欠かさないようにします。アザレアは一つの花で7～10日ほど咲き続けていますが、水が切れると開花後4～5日で散ってしまうので、乾く室内では毎日1回の水やりが必要です。また、ポインセチアも水切れに弱いので室温に近い温度の水をたっぷり与え、湿度を高める工夫をします。</p> <p>ハイビスカスほか熱帯性の種類は朝方の最低室温が低ければ日中の室温が高くても生育しないので、朝方の最低気温を適正に保つことが理想です。</p> <p>最低室温がそれぞれの種類の生育最低温度(10～15℃位)を維持している場合、水は鉢土の表面が乾いたら十分に与え、肥料は月に2～3回カリ分の多いものを薄めにして与えます。生育最低温度を保てない場合、水は鉢土の表面が乾いてから3～5日後に与え、肥料は止めて耐寒性をもたせるようにします。</p>



ポインセチア



## 作業時期

上旬	中旬	下旬

## 作業内容

庭木類

**雪害からの保護** 樹冠や枝に積もった雪は落として、枝折れを防ぎましょう。  
軒下に植えられている庭木類や道路際の生垣などは、落雪、除雪のために損傷を受けることが多いので、状況に応じて囲いの補強や除雪をしましょう。





作業時期			作業内容
上旬	中旬	下旬	<div data-bbox="591 151 710 215" data-label="Section-Header"> <p>鉢花</p> </div> <p>シクラメン、アザレア、プリムラ類などは日当たりのよい窓辺に置きます。室温は日中の最高が20℃、朝方の最低が10℃前後が適当です。</p> <div data-bbox="300 379 1005 446" data-label="Text"> <p><b>灌水</b> 鉢土が乾いたら十分に与えますが、鉢皿には水をためてはいけません。</p> </div> <div data-bbox="524 454 778 624" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="617 625 684 644" data-label="Caption"> <p>アザレア</p> </div> <div data-bbox="300 726 1005 793" data-label="Text"> <p><b>施肥</b> シクラメン、プリムラ類、ペゴニア類など次々に花を咲かせる種類には与えます。</p> </div> <div data-bbox="300 853 1000 920" data-label="Text"> <p><b>病虫害防除</b> うどんこ病、灰色かび病、カイガラムシ、ハダニ、アブラムシの発生に注意します。</p> </div> <div data-bbox="517 973 781 1123" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="611 1133 689 1153" data-label="Caption"> <p>マンリョウ</p> </div>



## 作業時期

上旬 中旬 下旬

## 作業内容

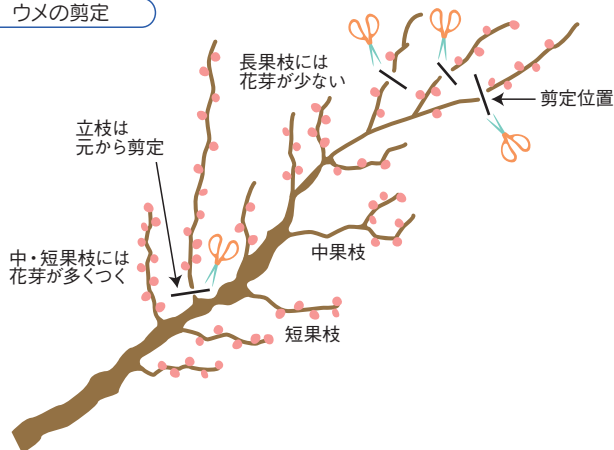
## 庭木類

**整姿・剪定** ウメ、ナシ、モモ、サクランボ、カイドウ類などは花芽を残しながら剪定します。

サクラ、ナナカマド、カンバ類、コブシ、モクレンなどは必要に応じて整姿します。

すでに樹液の揚がっているカエデ類や、イチイ、マツ類などの常緑針葉樹の整姿・剪定はしてはいけません。

## ウメの剪定



## 草花

貯蔵中の球根を点検しましょう。球根が乾き過ぎているときは保護材料も含めて霧吹きで水分の補給をします。腐敗しているものがあれば取り除き、湿り過ぎていたり、球根の表面にカビが生えている場合は陰干して、殺菌剤を噴霧した後に再貯蔵します。

作業時期			作業内容
上旬	中旬	下旬	<div>鉢花</div> <p>アザレア、ツバキ、エリカなどの花の終わった鉢は、春の植え替え時期まで5℃前後の低温に置いて新芽の成長を抑えます。</p> <p><b>灌水</b> 鉢土が乾いたら十分に与えますが、鉢皿には水をためてはいけません。</p> <p><b>施肥</b> 1月と同様、シクラメン、プリムラ類、ペゴニア類など次々に花を咲かせる種類には与えます。</p> <p><b>鉢替え</b> プリムラ類、シネリア、カルセオラリアなどは、鉢が込み合ってきたら根鉢を崩さずに一回り大きな鉢に替えると長く咲き続けます。</p> <p><b>剪定</b> ゼラニウムは花後に適宜剪定します。</p>
			 <p>アザレア展(百合が原公園)</p>



作業時期			作業内容
上旬	中旬	下旬	<div>鉢花</div>
			<div>植え替え</div> <p>アザレア、クルメツツジ、エリカ、ツバキ、ハナウメなどの花木類は花後に不要な枝を整理し、植え替えます。</p>
			<div>施肥</div> <p>ゼラニウムは花後に適宜剪定します。剪定した枝は挿し木して増やすこともできます。</p>
			<div>五色散椿</div> <div>玉之浦椿</div>



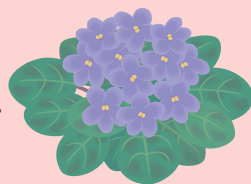
五色散椿



玉之浦椿

# 種から花を育てる

—種からの花づくりには良いことがいっぱい!—



みなさんは種をまいて花を咲かせたことがありますか？  
難しそうだし、面倒だと思われるかもしれませんが、良いこともたくさんあります。

良いこと

1

## 植栽計画を立てやすい

庭や玄関、ベランダなどに使いたい花を揃えることができます。冬の間に計画を立て、植栽する花をじっくり選びます。苗が準備できれば、園芸店やホームセンターを走り回って探す必要は少なくなります。

良いこと

2

## 自分だけの花を植えることができる

最近は、外国の種子も大規模な園芸店で入手できるようになりました。これらは苗で入手することが難しく、種から育てる必要があります。他の方が育てていない花を飾るのも個性的ですし、意味のあることではないでしょうか。

良いこと

3

## たくさんの苗を作ることができる

たくさんの苗が必要な場合でも、種から育てるとそれほど費用はかかりません。種から花を育てるのは、経済的にも大きなメリットだと思います。

良いこと

4

## 植物の性質を把握できる

種から育てていると、時には弱ったり、病気にかかったりすることもあります。しかし、そうした経験を通じて植物の持つ様々な性質を理解することができ、結果的により多くの種類の植物を使いこなせるようになるでしょう。

# 代表的な作業例

## ーペチュニアとダリアの基本作業ー



家庭での初期管理の方法を代表的な植物を例にして紹介します。

### ペチュニア

微粒種子で苗も小さいので、最初のポット上げは小さな容器のセルトレイに、それからビニルポットへと進めていく方法で育ててみます。

1



種まきは4寸のプラスチックポットを使用。小さな苗の移植には小さめのポットが作業しやすい。

2



用土はピートモス主体の培養土単用とする。微粒種子の場合、赤玉土が表面にあると吸水むらが起こるばかりでなく、根が土中に入り込めない（表面1cm分を培養土単用、その下層を赤玉土混入用土とするなどの方法もある）。



3



水はけを確保するため、ゴロ土を少量敷いてから培養土を入れる。

4



種子が移動しないように表面を丁寧にならす。版画用のパレンなどを使うとよい。

5



前もって水につけ用土をぬらした後、鉢全体に均一に種をまく。厚紙等を折って使うとまきやすい。

6



は播種後は新聞紙等をかけ、直射日光を避ける。

7



発芽した状態。鉢受けの水の量も減らした。

8



本葉がはっきり見えてきた。セルトレイに上げて良い状態。

9



セルトレイに用土を詰め込み、先に湿らせておく。

10



根を傷めないように慎重に苗を取り出していく。小さな葉さじやへらのようなものを使うと作業しやすい。

11



細い棒を使って穴をあけ、苗を入れていく。  
すき間ができないように、かつ根を傷めない  
ように優しく土を寄せていく。

12



直射日光に当てないようにしばらく管理する。

13



水やりは水差しを使って優しく行う。

## ダリア

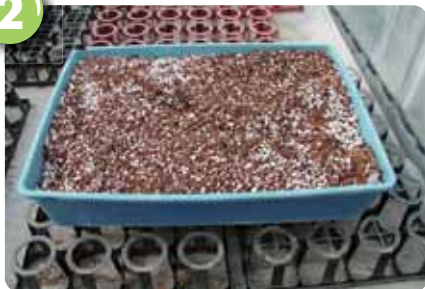
種子の大きさは中くらいで、苗は比較的大きく、根も少し太目です。ダリアのように根の太いものは一般的に支根の数も少なく、生育も緩やかです。種まきした培地である程度大きくする方が管理がしやすいので、大きなバットに密にならないように播種し、直接ビニルポットへ上げて管理してみましょう。

1



大きめのバットを使用。

2



ある程度の期間生育させ、覆土によって根の浮き上がりを防止できることから、排水性を重視し、赤玉土を混入した用土を使用。

3



表面をならした後ばらまきする。多くまき過ぎないように注意する。

4



覆土するくらいの種子の場合、上部からの水やりも可能。その場合は、目の細かいじょうろを使用する。

5



発芽数が多い場合、間引きによって数を調整し、生育を進めていく。

# 園芸に関するさまざまなご相談をお受けしています



「咲き終わった花の手入れはどうしたらいいの?」「肥料はいつ何をやればいいのか?」こうした園芸に関するさまざまなご相談に、専門知識を持ち経験豊かな「緑の相談員」がお答えします。直接お越しになるか、お電話でもご相談をお受けしています。

## 豊平公園緑のセンター

豊平区豊平5条13丁目

### 開館時間

午前8時45分から午後5時15分まで

### 休館日

毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)  
12月29日から翌年1月3日まで

### 緑の相談

【相談日・時間】 上記休館日を除く毎日  
午前10時から午後4時まで  
(正午から午後1時まで休み)

電話 811-9370

## 百合が原緑のセンター

北区百合が原公園210番地

### 開館時間

午前8時45分から午後5時15分まで

### 休館日

毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)  
12月29日から翌年1月3日まで

### 緑の相談

【相談日・時間】  
4月21日から11月6日の間の、毎週木、日曜日  
午前10時から午後4時まで  
(正午から午後1時まで休み)

電話 772-3511

## 平岡樹芸センター

清田区平岡4条3丁目1-1

### 開園時間

午前8時45分から午後5時15分まで

### 休園日

毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)  
11月4日から翌年4月28日まで

### 緑の相談

【相談日・時間】  
4月29日から11月3日の間の、毎週水、土曜日  
午前10時から午後4時まで  
(正午から午後1時まで休み)

電話 883-2891

### 温室観覧料

- 大人(高校生以上)……………130円
- 中学生以下・65歳以上……………無料  
(敬老手帳などをご提示ください)

## みどりの図書

各センターでは、園芸、緑化、自然などに関する書籍や雑誌類をそろえ、自由にご覧になることができます。



# 札幌市都市緑化基金

都市の緑は、私たちの生活に四季折々の季節感や心のゆとり、やすらぎ、うるおいなど、かけがえない充足感を与えてくれます。

札幌市は、道路、公園などの公共施設の緑化をはじめ、市民の方々の協力を得ながら地域の緑化に努めて、現在、全国でも屈指の緑豊かな街になりつつあります。

しかし、街全体が緑と花と木陰に包まれた「ゆとりとうるおいのある街」を実現するためには、公園などの公共施設の緑だけではなく、個人の住宅や事業所の周辺など民有地の緑化が不可欠です。

札幌市都市緑化基金は、市民の皆様から寄附をいただいたお金を積み立て、その果実(利子)で民有地の緑化を進めていこうとするものです。

私たちの街札幌を次代の市民に誇れるより緑豊かな魅力ある街にするため、「札幌市都市緑化基金」の積み立てに市民の皆様の暖かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 都市緑化基金は



## 記念樹プレゼント

札幌市民を対象に、結婚、出産、新築などの人生の節目を記念する慶事に対して、ライラック、ツツジ、ウメなど10種類ほどの中から希望の苗木をプレゼントしています。

応募は往復はがきで、返信用はがきが引換券となります。

## ツタ苗の補助

### 対 象

市内の住宅、事業所等の壁面、法面など。

### 補助数

植え込み予定の半数(最大15本まで)申し込み:春秋の年2回。



## フラワーポットの貸し出し

### 対 象

市内の町内会、自治会、商店街などの民間団体

### 貸出条件

3年間継続して設置してください。  
貸し出しの初年度のみ、培養土と花苗を1ポットあたり5株提供しますが、次年度以降は、利用団体において用意してください。

### 申し込み

年1回春のみ



# このような事業を実施しています

## さっぽろ緑花園芸学校

「さっぽろ緑花園芸学校」は花や緑を通じて地域や社会に貢献できる都市緑化のサポーターの養成を目的に開講しています。

カリキュラムは四季(4クォーター)に分けて、講義46回・実習25回で構成しています。一年間を通じて全ての講義・実習が学べる「通年受講」と、選択した講義のみを受講する「講義選択受講」の受講形態があります。



講義のようす(札幌エルプラザ)

講師には、各分野の専門家を招き、ボランティア、園芸、緑化技術、維持管理、デザイン、環境、福祉など、幅広いテーマで花や緑に関する知識を習得します。

実習では、札幌の気候にあった植物の維持管理などの知識・技術の習得、イベントの企画・運営などの合同実習をはじめ、3つのコース毎にテーマを設定したカリキュラムが組まれています。

## 3つのコース

### Aコース

ガーデニング、街路ます・花壇の植栽や管理など、地域の景観を整える活動を担う知識と技術の習得。

### Bコース

公園の植物栽培技術の習得、公園ガイドを担う知識と技術の習得。

### Cコース

地域の活性化を促すコミュニティガーデンの管理運営、園芸を福祉に役立てるための活動を担う知識と技術の習得。







第44回(平成22年度)

# 緑の絵コンクール



管野 継叶 さん  
(札幌市立盤溪小学校 5年生)

第44回緑の絵コンクールは小学生の部では42校1,174点、中学生の部では16校203点、計1,377点の応募があり、審査の結果、小学生の中から管野継叶さん、中学生の中から太田萌さんの作品を大賞作品として選考しました。

緑の絵コンクールは、毎年、札幌市内の小学生・中学生を対象として札幌市環境局みどりの推進部と財団法人札幌市公園緑化協会の共催で実施しています。



太田 萌 さん  
(札幌市立羊丘中学校 2年生)



第22回(平成22年度)

# 緑と花のフォトコンテスト



作品名 **「大空へ」** (モエレ沼公園)

撮影者 **今 明美** さん

## グランプリ作品審査講評

毎回優れた入賞作品が生まれる当フォトコンテストですが、今年も素晴らしい作品が数多く寄せられました。グランプリは雄大な大空の中で二人が大の字にジャンプしている作品ですが、作品自体がスケールの大きなモエレ沼公園の風景写真となっており、この日の天候、時刻、作者のチョイスしたレンズ、モデルの二人等、これら全てのファクターがプラスに作用し今回の受賞となりました。

審査委員長 株式会社富士フイルム 長谷川 純一

第22回緑と花のフォトコンテストには、四つ切り部門に67名209点、サービスサイズ部門に60名257点、計127名466点の力作が寄せられました。

## 四つ切り部門

### 優秀賞



作品名 **「春もみじの下で」**  
(赤れんが庁舎前庭)  
撮影者 **山内 佳子 さん**



作品名 **「秋の親子」**  
(円山公園)  
撮影者 **桑原 吉行 さん**



作品名 **「あかりの中の映り」** (中島公園)  
撮影者 **種田 亜男 さん**

## サービスサイズ部門

### 優秀賞



作品名 **「木陰広がる新緑色の広場で」**  
(百合が原公園)  
撮影者 **山本さおり さん**



作品名 **「飛沫を受けて」**  
(モエレ沼公園)  
撮影者 **片山 洋一 さん**



作品名 **「ライトアップ パートI」**  
(平岡公園)  
撮影者 **中田 勝義 さん**

平成23年度も第23回緑と花のフォトコンテストを実施し、札幌市内の公園や緑地における、緑や花の魅力・美しさ、公園でのひととき、自然とのふれあいなどを表現した作品の募集を予定しています。  
(応募締切：平成23年8月末日を予定)



# 平成22年度札幌市都市緑化基金事業報告

## 1 植樹等による民有地緑化事業

### 1 記念樹プレゼント

札幌市民の結婚、出産、新築、入学などの人生の節目のお祝いに際して、自宅の庭等で大切に育てていただくことを目的に、事前応募による苗木のプレゼントを行いました。

- ①配付月日      春季：平成22年5月22日（土）・23日（日）  
                    秋季：平成22年10月16日（土）・17日（日）
- ②配付場所      百合が原公園
- ③配付苗木及び本数

春 季		秋 季	
配付苗木名	配付本数	配付苗木名	配付本数
ライラック（花色：白色）	59本	ライラック（花色：白色）	27本
ライラック（花色：紫色系）	77本	ライラック（花色：紫色系）	20本
鉢植え向きライラック	160本	鉢植え向きライラック	48本
エゾムラサキツツジ	226本	エゾムラサキツツジ	61本
ドウダンツツジ	291本	ドウダンツツジ	119本
ナツツバキ	168本	ヨドガワツツジ	87本
ヤエザクラ	181本	キレンゲツツジ	83本
エゾヤマザクラ	109本	ヤエザクラ	46本
ブンゴウメ	156本	エゾヤマザクラ	48本
ラズベリー	217本	ブンゴウメ	47本
ブルーン	171本	ブルーン	89本
サクランボ	136本	サクランボ	54本
ハスカップ	260本	クラブアップル	76本
ジューンベリー	240本	ジューンベリー	206本
ブルーベリー	900本	ブルーベリー	503本
小 計	3,351本	小 計	1,514本
合 計	4,865本		

※平成22年度配付した4,865本のうち、4,474本（春季3,055本、秋季1,419本）については、札幌市から苗木の提供を受けて配付した。

## 2 緑化ツタ苗補助

家庭及び事業所等の壁面緑化を計画している札幌市民に対して、植込み予定数の半数（最大15本まで）のナツツタの苗を補助し、壁面緑化の推進を図りました。

	春 季	秋 季	合 計
補助件数	23件	14件	37件
補助苗数	144株	102株	246株
緑化延長	324 <sup>メートル</sup>	202 <sup>メートル</sup>	526 <sup>メートル</sup>

### 3 フラワーポットの貸し出し

町内会、商店街等の緑化活動に対して、身近な緑の創出と花壇造成の一助となるようフラワーポットを3年間無料で貸し出ししました。(貸し出し初年度のみ花苗と培養土を提供)

区 分	団 体 数	貸 出 数	備 考
町 内 会	3	70基	北1, 白石区1, 手稲区1
自 治 会	2	80基	北区1, 西区1
商 店 街	1	50基	西区1
合 計	6	200基	※新規貸出分のみの合計数

## 2 緑化推進に関する普及啓発事業

## 1 第44回緑の絵コンクール

緑化意識の高揚と啓発を図るため、札幌市内の小・中学生を対象とした、緑をテーマの絵画コンクールを札幌市との共催により実施し、優秀作品100点及び優秀校2校を選考しました。

- ①応募総数 小学校 42校 1,174点  
中学校 16校 203点
- ②表彰式 平成22年10月23日(土)  
ホテルノースシティにおいて、入賞者に賞状及び副賞を授与
- ③入賞作品展示 期間:平成22年10月22日(金)～10月26日(火)  
場所:札幌地下街オーロラコーナー

## 2 第22回緑と花のフォトコンテスト

緑化意識の高揚と啓発を図るため、市内の公園・緑地での花と緑、自然とのふれあいなどをテーマにフォトコンテストを実施し、グランプリ1点、優秀賞6点（各部門3点）、入賞20点（各部門10点）を選考しました。

- ①応募総数 127名 466点 四つ切り部門 67名 209点  
サービスサイズ部門 60名 257点
- ②表彰式 平成22年10月29日(金)  
札幌すみれホテルにおいて、入賞者に賞状及び副賞を授与
- ③入賞作品の展示 期間:平成23年3月18日(金)～3月23日(水)  
場所:富士フィルムフォトサロン〈札幌〉

### 3 都市緑化サポーター養成事業

#### さっぽろ緑花園芸学校

花や緑を通して地域や社会に貢献できるボランティア、都市緑化のサポーターの養成を目的に、さっぽろ緑花園芸学校を開講しました。

- ①受講者数 通年受講者数（講義45回・実習25回を一年間を通じて学ぶ）：29名  
講義受講者数（講義45回の延べ人数）：1,249名
- ②期 間 平成22年4月8日（木）～平成23年3月24日（木）
- ③会 場 講義：札幌エルプラザ 2階 環境研修室  
実習：百合が原公園、豊平公園、大通公園、前田森林公園など

### 4 助成事業

#### さっぽろガーデンシティ活動事業助成

都市緑化の推進や緑化活動によるコミュニティ活性化のため、市民団体などが緑のまちづくり事業を行う場合、その係る経費の一部を助成する事業を行いました。

- ①助成内容 財団法人札幌都市開発機構から拠出された資金を活用して、みどりのまちづくり事業に係るハード面の事業総額の4分の3以内を助成
- ②受付期間 平成22年2月15日（月）～4月30日（金）
- ③審査会 平成22年5月26日（水）
- ④申込数 4団体
- ⑤助成数 3団体



※敬称は省略させていただきます

平成22年度札幌市都市緑化基金へのご寄附につきましては、右表に掲載のみなさまのほか、設置している募金箱へもたくさんの募金を頂戴いたしました。

この紙面をおかりしまして、厚くお礼申し上げます。

今後も緑あふれる札幌の街並みが創り出されるよう、さまざまな事業を企画・実施してまいります。本当にありがとうございました。



#### 平成22年度 札幌市都市緑化基金への寄附

22年 4月	一般社団法人札幌空調衛生工事業協会
22年 5月	小暮 輝久
22年 7月	平向 孝行
22年 9月	社団法人日本フラワーデザイナー協会 道央支部
22年 9月	有限会社どりーむ
22年12月	山上 泰
23年 1月	山岸 豊治
23年 3月	財団法人札幌市公園緑化協会 収益事業
23年 3月	有限会社どりーむ
23年 3月	さっぽろ雪まつり実行委員会

#### 平成22年度 記念樹プレゼント事業への寄附

22年8月	札幌市緑の募金
-------	---------

#### 平成22年度 さっぽろ緑花園芸学校事業への寄附

22年6月	新琴似六番通り街づくりクラブ
-------	----------------

## 緑あふれる街づくりのため札幌市都市緑化基金の募金にご協力をお願いします

### 募金箱の設置場所

各区役所・札幌市環境局みどりの推進部  
百合が原公園・豊平公園・厚別公園・農試公園・川下公園・前田森林公園  
大通公園・円山公園・中島公園・平岡公園・モエレ沼公園・豊平川さけ科学館など

### 寄附の振込先金融機関

振込先：北洋銀行 札幌市役所支店 普通預金 251967  
口座名義人：ザイ）サッポロシコウエンリョッカキョウカイ  
財団法人札幌市公園緑化協会

## 緑でつつもう札幌のまち

①市民や事業者の皆さまからの  
寄付金を積み立てます。



②基金を運用した利益を活用し  
様々な事業を実施します。



③緑のまちづくりに  
役立てます。



## 基金に関するお問い合わせは

### ■札幌市環境局みどりの推進部みどりの推進課

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目  
大通バスセンタービル1号館6階  
電話 011-211-2522

### ■財団法人札幌市公園緑化協会

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目  
ニューワンビル4階  
電話 011-211-2579



## 環境マネジメントシステム(EMS)への取り組み

財団法人札幌市公園緑化協会では、平成18年(2006年)3月にISO14001の認証を取得し、平成21年(2009年)2月に再認証されました。

札幌市の「緑」を通じた快適な生活環境づくりに寄与していくうえで、環境負荷の少ない事業運営に取り組んでいます。

環境マネジメントシステム(EMS)を通じたさまざまな環境配慮に取り組んできた結果、省エネ・省資源など環境負荷の低減に一定の成果を上げてきました。



## 財団法人札幌市公園緑化協会環境方針

### 基本理念

地球上で長い年月をかけて地上の酸素を供給し、また多様な生物の食物連鎖の要として生命の営みを支えてきたのは植物であり、「緑」です。私たち人間が生活を営む社会も、この「緑」を抜きにして語ることはできません。

人間社会は、産業革命以降、大きく変化し、特にこの数十年間に科学技術の進歩とともに社会全体が急速な発展をとげました。その結果、私たち人間の生活は機能的にも物質的にも豊かになりました。

しかし、人口の増加や人間活動の増大などによって資源やエネルギーの消費は急速に増加し、地球環境の復元力を上回る大量消費が、地球温暖化、砂漠化、酸性雨、海洋汚染、熱帯林の減少、野生生物種の減少など、環境問題を深刻化させています。

今すぐ私たちが環境問題を真剣に考え、行動を起こさないと、次世代の生存をも危うくしてしまいます。

財団法人札幌市公園緑化協会は、札幌市の公園緑地の良好な管理運営と緑化の普及啓発を図り、市民に快適な生活環境を提供するために事業を行います。私たち一人ひとり、かけがえのない地球の構成員として「緑」の創出・保全を図り、地球環境の維持と改善に最大限努力いたします。

この運営の基本的仕組みとして、環境マネジメントシステムISO14001を活用いたします。

### 環境方針

財団法人札幌市公園緑化協会は、「緑」を通じて快適な生活環境づくりに寄与していくうえで、日々の事業活動において環境負荷の少ない社会の形成に努めます。

#### 1 環境経営の推進

環境マネジメントシステムを継続的に改善し、経営管理の一環として環境経営の推進に努めます。

#### 2 環境マネジメントシステムの継続的改善

環境目的・目標を定め、その達成に努力するとともに、定期的な見直しを行うことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図っていきます。

#### 3 環境意識の啓発

職員をはじめ、事業活動に関わる人々のほか、広く市民に対して、地球環境の大切さを啓発し、環境保全に対する意識の向上に努めます。

#### 4 環境の維持・改善

事業活動とオフィス活動において、省資源・省エネルギー、廃棄物の削減に努め、また、環境に配慮した商品の調達と購入を推進し、環境負荷の低減、地球環境の維持・改善に努めます。

#### 5 環境汚染に対する危機管理の徹底

事業活動に伴って生じる環境汚染及び事故を未然に防止するとともに環境関連の法令を順守し、環境汚染の危機管理を徹底します。

#### 6 法的及びその他の要求事項の順守

環境側面に関係して適用される法的要求事項及び財団が同意するその他の要求事項を順守します。

この環境方針は全職員及び財団のために働く全ての人に周知徹底するとともに、外部に公表いたします。

2007年4月1日

財団法人札幌市公園緑化協会

理事長  
浅川昭一郎



編集・発行 財団法人 札幌市公園緑化協会  
〒060-0031  
札幌市中央区北1条東1丁目6番地16 ニューワンビル4階  
TEL.011-211-2579

**URL** <http://www.sapporo-park.or.jp>  
すくすくみどりは、財団ホームページからダウンロードできます。